



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年1月13日 東

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大平毅
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼執行役員管理本部長 (氏名) 松本邦泰 (TEL) 06 (6338) 8331
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	9,520	2.0	351	9.6	388	8.4	188	22.0
26年2月期第3四半期	9,333	1.8	320	△10.4	358	△8.2	154	0.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	11 68	—
26年2月期第3四半期	9 02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	6,778	3,660	54.0
26年2月期	6,205	3,471	55.9

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 3,660百万円 26年2月期 3,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0 00	—	0 00	0 00
27年2月期	—	0 00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	2 00	2 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,604	2.1	354	2.2	400	0.6	107	12.3	6 57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	18,302,000株	26年2月期	18,302,000株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	3,001,967株	26年2月期	2,001,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	16,158,282株	26年2月期3Q	17,162,151株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府・日銀主導の金融政策等の効果により緩やかな景気回復が続きましたが、平成26年4月の消費税増税や先行する物価上昇に伴う長期化する個人消費の低迷や、GDP数値等の経済指標の不振などの懸念材料もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、度重なる原材料価格の高騰や人件費及び水道光熱費が増加する中で、顧客獲得のための企業間競争の激化により厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった低価格定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開を行っております。並行して、できたてメニューにこだわったカフェテリア業態「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態ごとに期間限定メニューを導入し、「ザめしや」では高級感のある松茸御飯や、まぐろ漬御飯等の季節御飯、牛すき鍋や、かき土手鍋等の鍋メニューの販売、「街かど屋」では鰹のたたき定食等の販売に続き、カキフライ定食や、鍋メニューを販売致しました。「めしや食堂」ではかぼちゃとしめじのキーマカレー等の月替わりカレーや、たこめし等の季節御飯の販売、「讃岐製麺」では、蒸し鶏あんかけうどんを販売したあんかけフェア等の各種フェアを実施致しました。

当第3四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が5店舗、閉店が3店舗となった結果、店舗数は123店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で売上高は9,520,179千円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は351,559千円（前年同四半期比9.6%増）、経常利益は388,317千円（前年同四半期比8.4%増）、特別利益として計上した受取補償金の影響もあり四半期純利益は188,767千円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により3,820,927千円（前事業年度末は3,198,865千円）となりました。当第3四半期会計期間末が金融機関の休日のため買掛金等の支払いが翌月に繰り越されたことや、既存店売上高の増加によるものであります。有形固定資産は、既存店舗の減損損失による特別損失の計上や減価償却が進んだことで1,565,696千円（前事業年度末は1,597,453千円）、投資その他の資産は差入保証金の回収が進んだことで1,356,477千円（前事業年度末は1,371,931千円）となり、資産の部合計は、6,778,776千円（前事業年度末は6,205,922千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、当第3四半期会計期間末が金融機関の休日のため買掛金が434,385千円増加し、2,318,143千円（前事業年度末は1,770,277千円）となりました。固定負債は、社債及び長期借入金の減少等により800,455千円（前事業年度末は964,170千円）となり、負債の部合計は3,118,598千円（前事業年度末は2,734,447千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により3,660,177千円（前事業年度末は3,471,474千円）となりましたが、当第3四半期会計期間末が金融機関の休日のため買掛金等の支払いが翌月に繰り越された結果、負債純資産合計が増加し、自己資本比率は54.0%（前事業年度末は55.9%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「街かど屋」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより出・退店は新規出店8店舗、閉店3店舗で当期末店舗数は126店舗を予定しております。

当期の見通しとしましては、売上高は12,604,696千円（前年同期比2.1%増）、営業利益は354,369千円（前年同期比2.2%増）、経常利益は400,543千円（前年同期比0.6%増）、当期純利益は107,032千円（前年同期比12.3%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

第1四半期会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を早期適用しております。

なお、この変更により当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,733,318	3,376,899
売掛金	8,005	11,953
商品	295	262
原材料及び貯蔵品	54,362	51,633
繰延税金資産	99,025	122,819
その他	303,856	257,358
流動資産合計	3,198,865	3,820,927
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,420,176	1,378,530
その他	177,276	187,166
有形固定資産合計	1,597,453	1,565,696
無形固定資産	37,672	35,674
投資その他の資産		
差入保証金	1,031,153	1,006,501
繰延税金資産	228,609	231,305
その他	112,678	119,180
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,371,931	1,356,477
固定資産合計	3,007,057	2,957,848
資産合計	6,205,922	6,778,776
負債の部		
流動負債		
買掛金	321,712	756,098
1年内償還予定の社債	40,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	405,259	256,005
未払法人税等	91,641	111,611
賞与引当金	119,187	174,711
その他	792,475	989,715
流動負債合計	1,770,277	2,318,143
固定負債		
社債	30,000	10,000
長期借入金	191,233	35,411
長期預り保証金	111,448	113,530
退職給付引当金	338,994	348,737
その他の引当金	75,783	80,672
その他	216,710	212,103
固定負債合計	964,170	800,455
負債合計	2,734,447	3,118,598

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	250,804	439,572
自己株式	△155,382	△155,447
株主資本合計	3,471,474	3,660,177
純資産合計	3,471,474	3,660,177
負債純資産合計	6,205,922	6,778,776

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	9,333,762	9,520,179
売上原価	2,893,502	2,972,544
売上総利益	6,440,259	6,547,634
販売費及び一般管理費	6,119,393	6,196,075
営業利益	320,865	351,559
営業外収益		
受取利息	5,188	3,939
受取家賃	131,227	131,090
その他	40,771	40,994
営業外収益合計	177,187	176,023
営業外費用		
支払利息	15,080	6,965
賃貸収入原価	122,330	124,960
転貸損失引当金繰入額	-	2,940
その他	2,259	4,400
営業外費用合計	139,671	139,265
経常利益	358,382	388,317
特別利益		
有形固定資産売却益	-	1,574
受取補償金	26,307	17,000
特別利益合計	26,307	18,574
特別損失		
有形固定資産売却損	-	537
有形固定資産除却損	8,355	8,353
減損損失	56,243	43,532
店舗閉鎖損失	12,057	508
その他	-	4,806
特別損失合計	76,657	57,738
税引前四半期純利益	308,033	349,153
法人税等	153,283	160,385
四半期純利益	154,749	188,767

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。